

授業科目	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ				単位	1		
履 修	選択	関連資格	社会福祉士		ナンバリング	WE21230J		
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-2 DP4-3 DP5-2			
担当教員	荒木 剛、通山 久仁子、梶原 浩介、中川 美幸							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>各福祉分野の実務家教員が自らの実践経験を踏まえて、地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を活用し、ソーシャルワークの展開とそこで活用される専門的な知識・技術の習得に向けた実技指導を行う。また、ソーシャルワーク実習Ⅱの後には、各自の実習体験を踏まえた個別・集団指導による事例研究・事例検討を行う。なお、本講義は「ソーシャルワーク演習(専門)1・2・3」と連動して行われる。学生は4つのグループに別れ、各教員が担当するテーマをローテーションで全て受講する。</p> <p>※演習内容に応じて、グループワーク、ロールプレイ、プレゼンテーションなどを行います。</p> <p>※履修対象は、原則として社会福祉士資格の取得希望者(ソーシャルワーク実習Ⅱの履修者)となります。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事例検討の意義と目的を理解できる。 2. ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる能力を習得できる。 3. 社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を習得できる。 4. 支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に習得できる。 5. 地域の特性や課題を把握・解決するためのアセスメントや評価等の仕組みを実践的に習得できる。 6. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に習得できる。 7. 事例検討や事例研究の具体的方法について習得できる。また、それらを通じたスーパービジョンについて理解できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	30	20	50	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				5	3	10	18	
思考・判断 (DP2-2)				4	3	5	12	
関心・意欲 (DP3-1)				4	3	10	17	
関心・意欲 (DP3-2)				4	3	10	17	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)				4	3	5	12	
態度 (DP4-3)				4	2	5	11	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				5	3	5	13	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
ソーシャルワークの実践モデル・アプローチに基づき地域が抱える課題の解決に向けた支援を検討できる。また、支援を概念化・体系化し、他者に示すことができる。				地域が抱える課題の現状とその社会的背景について理解できる。また、課題解決に向けた知識・技術の活用を検討できる。				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	【オリエンテーション】 講義の目標と概要、受講の方法・ルールについて説明する。	講義	当該内容についての復習	30
2	【事例検討】 実務家教員としての実践経験を踏まえ、地域福祉の基盤整備と開発に係るソーシャルワークの実践事例について以下の内容を教授する。 1. 事例検討の目的と意義について解説を行う。 2. 地域が抱える課題とその背景について解説を行う。 3. 住民に対するアウトリーチとニーズ把握について指導を行う。 4. 地域アセスメントについて指導を行う。 5. 住民や関係者の組織化について指導を行う。 6. 地域福祉の計画について指導を行う。 7. 社会資源の活用・調整・開発について指導を行う。 8. サービスの評価について指導を行う。 【実習後】 各自が実習で体験した事例について、個別・集団による事例検討・事例研究を行い、ソーシャルワークに係る知識・技術の習得のための実技指導を行う。	演習	事例検討の内容についての復習	30
3	【事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。	演習	事例検討の内容についての復習	30
4	【事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。	演習	事例検討の内容についての復習	30
5	【事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。	演習	事例検討の内容についての復習	30
6	【事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。	演習	事例検討の内容についての復習	30
7	【事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。	演習	事例検討の内容についての復習	30
8	【事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。	演習	事例検討の内容についての復習	30
9	【事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。	演習	事例検討の内容についての復習	30
10	【事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。	演習	事例検討の内容についての復習	30
11	【事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。	演習	事例検討の内容についての復習	30
12	【事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。	演習	事例検討の内容についての復習	30
13	【事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。	演習	事例検討の内容についての復習	30

14	【事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。	演習	事例検討の内容についての 復習	30
15	【事例検討】 ※授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。	演習	事例検討の内容についての 復習	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	ソーシャルワークの基本的視点及び課題解決に資する知識、支援技術を必要とします。			
テキスト	なし			
参考図書・教材／ データベース・雑誌 等の紹介	参考図書：適宜紹介します。			
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	新聞や関連雑誌等に目を通す習慣をつけ、様々な福祉的課題の現状について理解を深めておくこと。			

達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	講義内での発表、課題の内容・提出状況、その他(授業への参加意欲・態度、グループワーク時の発言・リーダーシップ・協力度など)で評価します。詳細は初回の講義で示します。
--------------------------------	--